



Discusは土壌水分や表面からの土壌特性を迅速かつ正確に測定することのできる、地質調査において画期的な技術を用いた探査機です。土壌サンプルの抜き取りやキャリブレーション、放射線源を必要としません。

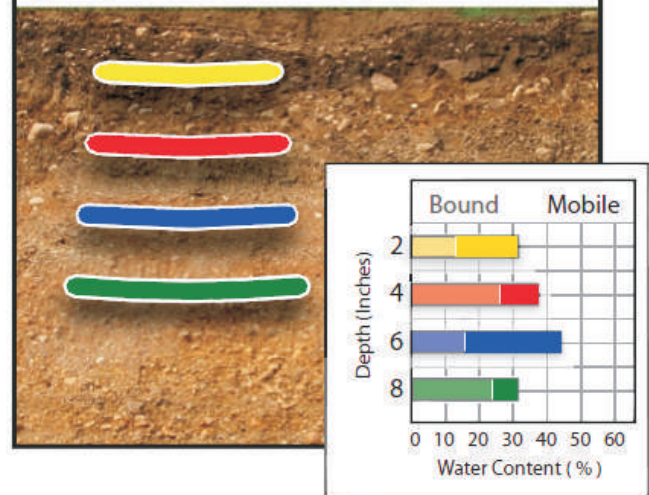
◆Discus 測定プローブ◆

- ・ 土壌水分の直接的かつ量的な測定
- ・ 水分割合に関する流動VS結合の分類
- ・ 空隙サイズや浸透性、圃場容水量の推定
- ・ 放射線源やボーリング、サンプル採取から解放



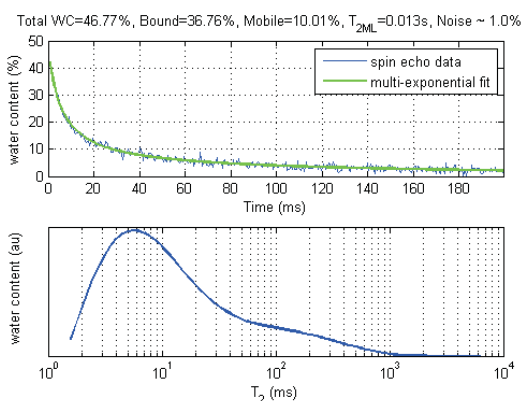
◆Discus 適用範囲◆

- ・ 地質調査や路盤圧縮の解析
- ・ 灌漑や排水に関する農業最適化調査
- ・ コンクリートやアスファルトの非破壊水分調査
- ・ 土壌、永久凍土、炭素循環等の科学的研究

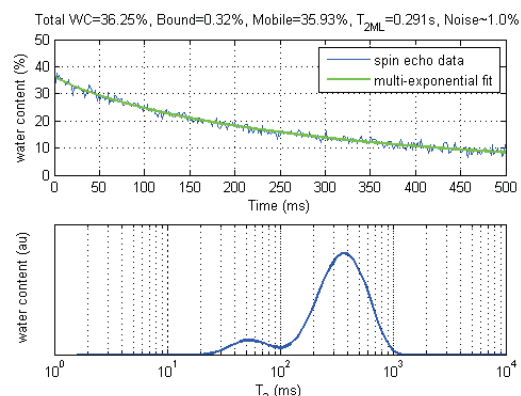


◆高精度な土壌特性◆

Discusは各深度間隔での土壌水分（含水）を測定できます。またNMR（核磁気共鳴）緩和時間分布は空隙サイズや土壌特性を示します。



シルト質土では短い信号と主に結合水を示す



砂質土では長い信号と主に流動水を示す



No Lab Analysis



No Radioactive Source



No Calibration



◆安全かつシンプルな操作性◆

放射線源を排除しており、規制対応や免許取得の費用がかかりません。使い勝手の良いソフトウェアで含有水分や土壌特性の読取データを明瞭に出力できます。

◆直接的な水分検知◆

Discusで測定されるNMR信号は水中の水素原子より直接発せられ、岩質キャリブレーション不要で正確な含水量の線形測定を行えます。適切なノイズキャンセルにより生活ノイズを軽減できます。

◆深度プロファイリング◆

MRIスキニング技術に基づいた高精度深度プロファイリングにより、土壌特性の変動を複雑で不均一な環境での深度として定量化できます。

◆土壌特性評価◆

Discusのデータは小さい空隙内の結合水と大きい空隙内の流動水を区別し、土壌タイプの分類と動特性の推定が可能です。

◆モジュール式のデザイン◆

コントロールユニットは、様々なサイズの地表スキャナーや小型の孔内プローブを含めた交換可能なセンサーを操作でき、フレキシブルなデザインとなっております。

◆仕様◆

周波数：175-475kHz 深度レンジ：3-8.5インチ 通信：USB 重量：25kg以下
最小Tau：300μs 横感度：20インチ コンピュータ：タブレットもしくはPC(別売)
電源：16Vリチウムイオンバッテリー



株式会社 テラ

(テラ=Terra)

事務所

〒361-0035 埼玉県行田市堤根1593-1
電話 048-553-3033 ファックス 048-553-3047
E-mail: terrajp@cpost.plala.or.jp

本社

〒365-0064 埼玉県鴻巣市赤見台三丁目15-40
電話 048-596-3147 ファックス 048-596-3255
URL: www.terrajp.co.jp